

## コロナ研究、陰の立役者 金井 隆典

新型コロナウイルスの感染拡大が始まった2020年。最前線で奮闘する内科や感染症科の同僚の姿をみて、消化器内科医の私もじっとしておられず、大学や医療機関をまたがる有志で感染者の重症化要因を探る研究チーム「コロナ制圧タスクフォース」を立ち上げた。

とはいえ所詮は医者集団。日本のコロナ研究に効果的に貢献するために體が関や政治家の理解をどう得ていくか、不慣れな私たちには支えが必要だった。そんなときに京都大の小川誠司教授が紹介してくれたのが電子宅配サービスを手がけるイーパールの北野譲治社長だ。

政官財に根を張るその人脈の広さに驚かされた。いるんな人が「北野さんの紹介なら」と親身になって相談に乗ってくれた。私心のない言動と柔らかな表情に、私の心も自然と引き付けられていった。

北野氏は自ら運転する車に私たちも乗せて各都府から病院へと駆けずり回り、研究の意義と協力を呼びかけた。有力科雑誌に論文を掲載できるほどの成果を出せたが、それ以上に業種を越えて熱意を共有できたのがうれしい。

北野氏は最近、鹿児島県の地域医療の中核を担う南風病院の副理事長として初めての病院経営に挑戦している。医療は私の専門分野。少しでも恩返しをしたい。（かない・たかのり＝慶応大医学部長）

## 交遊抄